

一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順 省
- 報告期日 令和3年3月5日（金）
- 実施校 北海道今金高等養護学校
- 巡回指導者 吉田 順 省
- 当該校担当教諭 海田 健 教諭
- 実施日 令和3年2月22日（月）
- 実施日程
 - ① 13:10 ～ 14:40 1年生（生徒数24名） 体育授業
 - ② 15:00 ～ 15:30 スポーツ部（21名） 部活動

○実施概要

① 1年生体育授業

初めにウォーミングアップとして一人ひとりがボールに触れてもらえるようなドリブル中心のメニューを行いました。その後、グループで行うシュートの要素を取り入れたゲーム形式のメニューを行いました。また、合間に授業の中でリフティングを行っているということから簡単なレクチャーも取り入れました。最後に試合形式で生徒同士、教諭チームとの対決を行いました。フットサルというスポーツを通じて、楽しみながら何事も取り組むこと、協力することや応援することの大切さや仲間の大事さ等を伝えさせて頂きました。初めてお会いした生徒さんでしたが皆さん、とても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になりました。

② スポーツ部活動

私が2年前に巡回指導で伺ったことを皆さん覚えて頂いている生徒さんも多く、最初からとても明るい雰囲気の中で、部活指導を行うことが出来ました。内容としましてはフットサルの専門的な要素を取り入れたシュートやパスのメニューを実施しました。理解するまでに時間はかかりましたが、先生の皆様にもご協力頂き、最後には狙い通りのプレーが出来ていました。最後には試合形式で生徒同士、教諭チームと対決をしました。4月から社会人になり、フットサルというスポーツを余暇の一環として行い、健康で楽しい生活を過ごして頂けたらと伝えさせて頂きました。



○総括

新型コロナウイルスの影響で学校行事がほぼ中止になり、生徒の皆さんは学校生活での楽しみがなくなってしまう状態であるようです。今回もそのような声が上がってまいりました。前回同様、楽しい時間の提供も大切だと強く感じ、フットサルというスポーツを通じ学校では教わることの出来ない人との関わり、優しさや思いやり、楽しむことや笑顔の大切さなど、たくさんのことを伝えることが出来ると信じています。最大限の感染対策をし、出来る限りこの活動を行い、少しでも生徒の皆さん、学校様のお役に立てることが出来たらと考えております。今は我慢のとき。ここを乗り越えられると人としても成長出来ると信じ、楽しい時間とたくさんの笑顔が溢れる活動を行い、インクルーシブ社会の実現を目指す為に努力致します。